

エコの すすめ

COOL
CHOICE

COOL CHOICE (クールチョイス)とは…

地球温暖化を防止するため、省エネ・低炭素型の「製品」「サービス」「行動」など、『賢い選択』をしていこうという国民運動です。

小さなことからコツコツと!!

環境に配慮した行動と選択の積み重ねが地球や家庭の「エコ」につながります。年末は、各家庭で掃除・片付けをする機会が多い季節です。家の中や物置などに粗大ごみは眠っていませんか? 「この機に捨ててしまいたいけど、出し方がわからない…」と思っている方へ、普段捨てる機会の少ない粗大ごみの捨て方を改めてご紹介します!

粗大ごみって?

町ではタンス・ソファ・ベッド・自転車などの指定のごみ袋に入らない大型のごみを粗大ごみとして扱っています。

※詳しくは、てしかがの「ごみの分け方・出し方辞典」たっじんを参考してください。



粗大ごみの出し方

- ①ご自身で町廃棄物処理施設(美留和处理場)へ搬入する方法
【手数料:10kgあたり96円(税別)】
- 営業日 月～金曜日(祝祭日を含む) 9～16時まで
 - 土曜日、第2・第4日曜日 9～12時まで
 - ※5～6月の日曜日については第1・第5日曜も開場しております。

- ②事前に役場環境生活課へ電話予約し、引き取りを依頼する方法
【手数料:10kgあたり210円(税別)】
- 引き取り日:月～金曜日(平日のみ)

②電話による引き取り依頼をする際の注意事項!!

- ・粗大ごみの内容(種類・数量・サイズなど)を必ず役場担当者へお伝えください。
- ・引き取りの際には粗大ごみを外に出してください。
- ・ご希望の日時に沿えない場合もございます。1週間程度、余裕をもってご予約ください。
- ・12月は特に大掃除をする家庭が多いため、美留和处理場が混み合う場合があります。

なお、テレビ、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機、エアコン、衣類乾燥機の6品目は町で回収していません。

購入いただいたお店が町内の電気店に処分を依頼してください。

問い合わせ先／役場環境生活課環境係 ☎482-2934 (課直通)

摩周湖の景観を未来へ! (摩周湖水質調査を継続するプロジェクト)

クラウドファンディング実施します!

【12月～2月予定】

皆さんもご存知のとおり、摩周湖は世界有数の透明度を誇り、毎年多くの観光客が訪れる、美しい湖です。そんな摩周湖ですが、毎年研究機関による水質調査が行われていたことを知っていますか?

令和元年より、摩周湖環境保全連絡協議会(清里町、別海町、中標津町、標茶町、本町)において調査を引き継いでいますが、資金調達のためクラウドファンディングを実施しています!

町民の皆さんには非常に身近な存在である摩周湖ですが、この調査を断念してしまうと、美しい「摩周ブルー」が失われてしまうかもしれません。摩周湖は日本で唯一の国際的な水質観測地点として、地球環境を監視している湖でもあります。皆さんからのご支援、お待ちしております!

※専用サイトに公開次第、町公式ホームページやチラシなどでお知らせします。

詳しくはこちらをチェックしてください!!

★摩周湖環境保全連絡協議会について(町公式ホームページ)

<https://www.town.teshikaga.hokkaido.jp/kurashi/soshikiichiran/kankyoseikatsuka/1/2/2665.html>



問い合わせ先／摩周湖環境保全連絡協議会
(事務局:役場環境生活課環境係 ☎482-2934 (課直通))

防災ワンポイントコーナー

災害による被害

11月1日、発達した低気圧の影響で暴風警報が発表され、町では18時30分頃に最大瞬間風速30.8メートル(時速約111キロメートル)が記録されました。この暴風により、屋根の剥がれや倒木が多数発生し、老朽や破損の著しい空き家などの家屋からの飛散物が、近隣家屋や車両に損傷を与えた事例も報告されました。

暴風に限らず、豪雨や地震などの災害により被災し、保険請求をする際には、罹災証明書が必要となる場合があります。罹災証明書の交付を希望される方は役場総務課防災情報係までお問い合わせください。



屋根の剥がれ



釧路川沿いの倒木

釧路町、標茶町との連携に関する協定

11月4日、町、釧路町および標茶町は、大規模災害発生時などに広域避難や広域一時避難を円滑に実施し、備蓄している非常食や防災ベッドなどの物資を相互に融通し合う協定を締結しました。これにより、アトサヌプリ(硫黄山)の噴火時に他町からの援助を得たり、町民が釧路町や標茶町で被災した場合にその両町で避難したりするなど、相互の連携体制が更に強化されました。



前列左から釧路町長、標茶町長、徳永町長

問い合わせ先／役場総務課防災情報係 ☎482-2912 (課直通)

「屈斜路湖はなぜ浅いのか」

～最新研究が解明したアトサヌプリ火山の秘密～

[講演者]

北海道大学理学研究院・特任教授

中川 光弘

屈斜路湖は日本最大のカルデラ湖ですが、平均水深は約30メートルと浅い特徴があります。近年の研究により、この浅さはアトサヌプリ火山の大規模噴火による火砕流が湖底を埋めた結果であることが判明しました。本講演では、過去約12万年にわたる屈斜路および周辺火山の活動史を概観し、とくに従来あまり注目されなかったアトサヌプリ火山や摩周火山にも焦点を当て、最新の研究成果を紹介します。

12/6 土

[時間] 13時30分-15時30分
入場無料(申込不要 定員50人)

川湯ビジターセンター 講演会 | 自然ふれあい行事

会場:川湯ビジターセンター2階
問い合わせ先: ☎483-4100 / 8時～17時 / 水曜日定休
主催: 屈斜路カルデラ自然ふれあい推進協議会